

Google Classroomマニュアル スマートフォンで課題を作成する

情報処理センター
2020年度 作成

1

スマートフォンかPCか

- スマートフォンはとても**便利**になりました
- 課題に関してもスマートフォン1つで完結することも不可能ではなくなりました
- ただし、**文字入力以外が必須**であれば**圧倒的にPCが便利**です
 - 絵や画像、表やグラフ等の追加など

2

必要なアプリ

- Google Classroomの課題新規作成ではGoogleのアプリを使いますので、必要に応じてインストールしましょう
 - Googleドキュメント(Word系)
 - Googleスプレッドシート(Excel系)
 - Googleスライド(PowerPoint系)
- 大学のMicrosoft365アカウントを使用することで、Microsoft Officeアプリも使用できます
 - 使い方についてはIPCのホームページをご確認ください
 - Officeアプリから直接Googleドライブに保存できないようなので、OneDriveに保存 > Googleドライブにアップロードなどの手順が必要になります

3

ファイルの保存場所

- Googleドキュメント等のアプリでは、ファイルの保存はスマートフォン**本体ではなく** Googleドライブというクラウドサービスに保存されます
 - 別途スマートフォン本体に保存する方法もあります
- そのため、Googleドライブのアプリも扱える
とより便利になると思います

4

Googleドキュメント

- MicrosoftOfficeのWordのような機能のアプリです
- Wordのデータに書き込みをすることもできます
 - 表示が崩れることがありますので提出前にはWordで確認することをおすすめします
- Googleドキュメントで新規作成した場合のファイルはWord(docx)ではありません。提出形式が指定されている場合は注意してください。
- Classroom以外で新規作成する場合は右下の+マークをタップします



5

主な機能

- 編集画面では上下に様々なマークがあります
 - それらをタップすると書式の変更ができます



6

ファイル名の変更方法

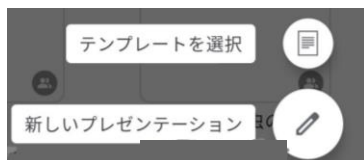
- 課題では当然ファイル名の指示もあります
- ドキュメントでは左上の✓マークをタップすると変更が保存されて、ファイル名が見えるようになります
- ファイル名をタップすると、変更表示が表れて変更することができます



7

Googleスライド

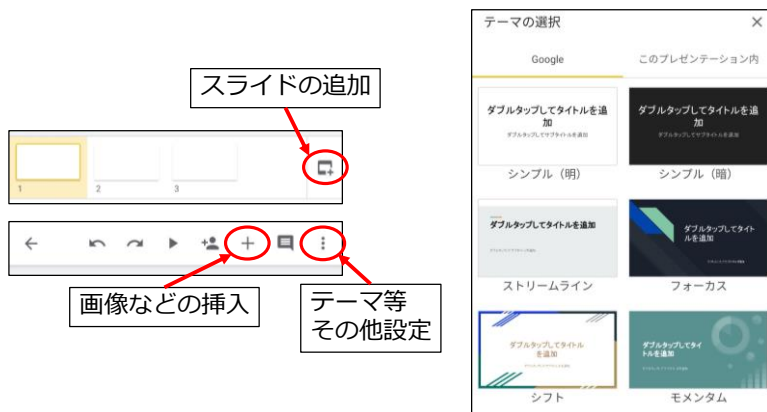
- MicrosoftOfficeのPowerPointのような機能のアプリです
- PowerPointを読み込み、編集したりスライドショーを開始することができます
 - 読み込み時に表示が崩れることがあります
- Googleスライドで新規作成した場合のファイルはPowerPoint(pptx)ではありません。提出形式が指定されている場合は注意してください。
- Classroom以外で新規作成する場合は右下+マークから新しいプレゼンテーションをタップします



8

主な機能

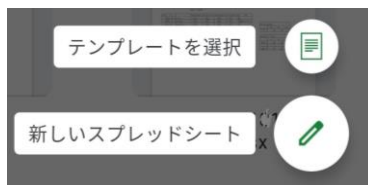
- 編集機能は上下のバーに収められており、タップすることで書式を変更できます
- テーマも多数用意されています



9

Googleスプレッドシート

- MicrosoftOfficeのExcelのような機能のアプリです
- Excelのデータに書き込みをすることもできます
- Excelと同様に関数も扱えます
- Googleスプレッドシートで新規作成した場合のファイルはExcel(xlsx)ではありません。提出形式が指定されている場合は注意してください。
- Classroom以外で新規作成する場合は右下の+マークから[新しいスプレッドシート]をタップします



10

名前の変更

- スライドとスプレッドシートは同様の方法でファイル名を変えることができます
- 右上三点マークをタップするとその他メニューの一番上にファイル名が出てきます
- これをタップするとファイル名の変更ができます

